



科学の眼

まなこ

発行:姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話:079-267-3961)

<https://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

生物シリーズ

2019年度の野鳥観察記録

科学館周辺の野鳥

Observations on wild birds around museum

姫路科学館 専門員 森田 俊司

姫路科学館周辺は雑木林や竹林に囲まれ、農業用ため池の上池（うわいけ）が隣接しています。2019年4月から2020年3月まで、1年かけて周辺の野鳥調査を行い（早朝と夜間の調査は実施せず）、75種類を確認しました（外来種を含む）。

○姫路科学館周辺で確認した野鳥

※ 留：1年を通して見られる／夏：春から夏、初秋まで見られる／冬：秋から冬、春まで見られる／候：春と秋の渡りの一時期に見られる／外：外来種

	科名	種名	区分	16		ダイサギ	留
1	カモ科	オシドリ	冬	17	クイナ科	オオバン	冬
2		ヨシガモ	冬	18	カッコウ科	ホトトギス	夏
3		マガモ	冬	19		ツツドリ	候
4		カルガモ	留	20	ミサゴ科	ミサゴ	留
5		コガモ	冬	21	タカ科	ハチクマ	候
6		オナガガモ	冬	22		トビ	留
7		キンクロハジロ	冬	23		ハイタカ	冬
8		ホシハジロ	冬	24		オオタカ	冬
9		ミコアイサ	冬	25		サシバ	候
10	カイツブリ科	カイツブリ	留	26	ノスリ	冬	
11	ハト科	キジバト	留	27	フクロウ科	フクロウ	留
12		アオバト	冬	28		アオバズク	候
13	ウ科	カワウ	留	29	カワセミ科	カワセミ	留
14	サギ科	ゴイサギ	留	30	キツツキ科	コゲラ	留
15		アオサギ	留	31		アオゲラ	留

32	サンショウクイ科	サンショウクイ	留	54	ムクドリ科	ムクドリ	留	
33	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	夏	55	ヒタキ科	トラツグミ	冬	
34	モズ科	モズ	留	56		シロハラ	冬	
35	カラス科	カケス	冬	57		ツグミ	冬	
36		ハシボソガラス	留	58		ルリビタキ	冬	
37		ハシブトガラス	留	59		ジョウビタキ	冬	
38	キクイタダキ科	キクイタダキ	冬	60		イソヒヨドリ	留	
39	シジュウカラ科	ヤマガラ	留	61		キビタキ	夏	
40		シジュウカラ	留	62		オオルリ	夏	
41	ツバメ科	ツバメ	夏	63		スズメ科	スズメ	留
42		コシアカツバメ	夏	64		セキレイ科	キセキレイ	留
43		イワツバメ	夏	65	ハクセキレイ		留	
44	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	留	66	セグロセキレイ		留	
45	ウグイス科	ウグイス	留	67	アトリ科	アトリ	冬	
46	エナガ科	エナガ	留	68		カワラヒワ	留	
47	ムシクイ科	メボソムシクイ	候	69		ベニマシコ	冬	
48		センダイムシクイ	夏	70		シメ	冬	
49	メジロ科	メジロ	留	71		イカル	留	
50	ヨシキリ科	オオヨシキリ	候	72		ホオジロ科	ホオジロ	留
51		コヨシキリ	候	73	カシラダカ		冬	
52	レンジャク科	キレンジャク	冬	74	アオジ		冬	
53		ヒレンジャク	冬	75	キジ科	コジュケイ	外	

○調査期間 2019年4月～2020年3月（1年間）

○調査場所 姫路科学館～青山小学校までの道路を歩いて往復し、確認できた野鳥を記録。

○調査結果

75種類の野鳥を確認（外来種のコジュケイを含む）。水辺や山地の鳥がよく見られました。特に冬季、オシドリが生息し、サンショウクイ（亜種リュウキュウサンショウクイ）が越冬しているのは貴重な記録です。また、絶滅の危機に瀕している猛禽類のミサゴもよく観察されました。春から夏にかけてはキビタキ、センダイムシクイ、ホトトギスの声がよく聞かれました。館の周辺は深い森林にすむアオ



木で休むミサゴ

ゲラやフクロウも生息し、生物多様性が豊かなようです。皆さんのすむ場所でもこまめに観察記録をとり、整理することで自然環境の状態や季節の移り変わりを知ることができます。自然相手の観察は地道な活動ですが、毎回新しい発見があるのが楽しいです。